

平成24年度市民評価委員会評価結果一覧表(快適交流・経済活力部会)

事業名		部局名	課所名	番号	実施日時	
緊急雇用東平産業遺産観光案内事業		経済部	運輸観光課	7151-1	第1回	9/19(水)
◇ 自己評価結果	簡素化する					
◆ 市民評価委員会結果	手段を改善する					
総括	マイントピア別子とマイントピア別子を楽しく育てる会についての円滑な連携が図られるように、行政として、またマイントピア別子の株主として取り組んでいただくとともに、平成25年度以降の取組については、交流人口の拡大を視野に入れた雇用のあり方についても検討していただいたうえで事業展開していただきたい。					
他意見	マイントピア別子は平成25年度から2種免許を取得し、団体客に向けた輸送など取組を進化させようと考えていることから、団体客はマイントピア別子、個人客は楽しく育てる会が対応するという点で検討していただきたい。この点は経営戦略会議に報告していただきたい。					
質疑	○緊急雇用の事業が終わればこの事業も終わりということになるのか。 ○緊急雇用で雇われた人はどのように知識を習得しているのか。					
駅周辺駐車場等整備事業		建設部	区画整理課	8219-2	第1回	9/19(水)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する					
総括	駅周辺整備事業完了後、引き続き駅南整備の取り組みが必要であるので、早い段階で、駅南の面整備、鉄道高架事業、JR貨物の移転等の行政課題についての方向性を検討していただきたい。なお検討に際しては関連する地域住民や関係者、物流事業者を含め意見調整し一元的な取り組みを行い、情報開示することも含めて事務局である都市計画課を中心に取り組んでいただくよう、経営戦略会議に意見を付したい。					
他意見	このようなまちづくりについては、地域の関係者や経済団体等利害関係者との意見調整をしたうえで新居浜の陸の玄関口にふさわしい面整備を進めていただきたい。					
質疑	○駅南について第五次長期総合計画の中ではどのような位置づけになっているのか。 ○駅南の駐車場の駐車台数についてどう考えているのか。					
改修(重要)事業(東港地区)		港務局事務局	港湾課	90-1	第1回	9/19(水)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する					
総括	物流面で非常に重要な港湾であり、今後、東港を含む港湾改修に当たっては、物流と産業界の声も聞きながら、ニーズに沿った港湾改修の計画を立てると同時に、広く情報開示をして港湾事業の推進に取り組んでいただきたい。					
他意見	特になし					
質疑	○今後の東港の改修はどのような計画で行こうとしているのか。 ○浚渫土砂は化学に持って行っているのか。					
工業用地造成事業(東予港地区)		企画部	港湾管理課	301-1	第1回	9/19(水)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する					
総括	耐震強化岸壁の供用がスムーズにできるようにするための浚渫という意味もあるので、主管課が方向性を考えている現状のまま継続するということで、委員会としても同じ方向性を出していきたい。					
他意見	特になし					
質疑	○この事業は工業用地造成が目的か、浚渫土砂投入が目的なのか。 ○化学としては埋立地をどのように活用する計画なのか。					

事業名		部局名	課所名	番号	実施日時	
上部東西線改良事業（街路）		建設部	道路課	8045-1	第1回	9/19(水)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する					
総括	予算の制約があるとはいえ、市民としては、他市の道路が目に見える形で整備されているので、将来性のある重要な路線であり、道路課としてもスピード感を持って取り組んでほしい。					
他意見	ドーナツ化現象で人口が上部に集中しているのので、市道上部東西線、角野船木線についても、市民は待ち望んでいる。11号線バイパスが国の予算どりなどで進んでいない状況なので、早期の供用開始に向けて目に見える形で進めてもらうよう要望したい。このことは経営戦略会議に報告してほしい。					
質疑	○大生院の所まで行くのは、計画では何年度ぐらいを予定しているのか。 ○第1工区の事業認可までに10年間のギャップがあるが、どのような要因で認可が遅れたのか。					
角野船木線改良事業		建設部	道路課	8112-1	第1回	9/19(水)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する					
総括	スピード感を持って取り組んでほしいが、補助金の関係で予算的制約があるので、方向性としては現状のまま継続するとしてほしい。					
他意見	用地交渉においては一定の誠意を持って交渉しなければならないが、一線を超えると思われる場合は、しかるべき手段を講じる必要がある。担当課ともしっかり連携していただきたい。					
質疑	○角野船木線は市単独事業で行っているのか。 ○用地買収に関し、地権者との交渉が不調になれば、事業認定を受けて土地収用法でやることになるのか。					
新居浜市民間木造住宅耐震診断事業		建設部	建築指導課	8206-1	第2回	10/3(水)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	—（補助金）					
総括	先進自治体の取組状況も参考にしながら、建築年数や高齢者など物件や対象者により絞り込みを行う等、周知方法の工夫を重ね、より実効性の上がる取り組みをしていただきたい。					
他意見	申し込みが増えているのは評価できるが、まだ件数は少ない。制度のPRは十分できていると思うが、地震被害についても周知した方がよい。					
質疑	○経済的に改修の難しい人に税金を投入すべきでは。 ○25件を超えるとキャンセル待ちになるのか。枠は増やせないのか。					
民間木造住宅耐震改修補助事業		建設部	建築指導課	8229-1	第2回	10/3(水)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	—（補助金）					
総括	先進自治体の取組状況も参考にするとともに、来るべき有事に備えて、想定できることについては関係団体と協議するなど、より実効性の上がる取り組みを検討していただきたい。					
他意見	対象者の方が、意識を持って耐震改修をやっていくように理解を求めるPRを行っていくしかない。					
質疑	○改修費はどれくらいかかるのか。 ○高齢者は中々改修に踏み切れない。実施件数が伸びないことが想定されるが、担当課の考えは。					

事業名		部局名	課所名	番号	実施日時	
中小企業設備近代化資金預託金		経済部	商工労政課	7012-2	第2回	10/3(水)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する					
総括	初期投資を伴う設備の近代化については、県の融資が十分でない現状からも、このような融資制度があることは市内の中小企業にとってもメリットがあるので、今後とも利用促進に向けて取り組んでいただきたい。					
他意見	特になし					
質疑	○審査は新居浜市が行うのか。 ○融資件数の推移は。融資枠はいくらか。					
ふるさと雇用地域ブランド商品開発・販路開拓事業		経済部	商工労政課	7137-1	第2回	10/3(水)
◇ 自己評価結果	廃止する					
◆ 市民評価委員会結果	廃止する					
総括	ふるさと雇用の再生事業としては、予算の終了により廃止とするが、事業の行政目的を達成するためには、市単独予算での費用対効果も考えた取り組みを継続していただきたい。					
他意見	ブランド化については、新居浜市にはまだうずもれた一次産品があるので、関係団体と連携強化を図りながら取り組んでもらいたい。					
質疑	○雇用は継続しているのか。 ○継続的に販路開拓できた案件はあるのか。					
企業誘致整備対策事業		経済部	商工労政課	7038-1	第2回	10/3(水)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する					
総括	企業誘致を促進する受け皿として、工業用地の確保は重要であり、工業用地域(又は産業居住地域)での用地造成が最も望ましい。内陸型企業用地の造成・確保にも努力してほしい。					
他意見	特になし。					
質疑	○リブドゥコーポレーション以外の企業誘致計画はあるのか。 ○内陸型工業団地について、商工労政課長としての考えは。					
ふるさと雇用商店街活性化協働ネットワーク事業		経済部	商工労政課	7158-1	第2回	10/3(水)
◇ 自己評価結果	廃止する					
◆ 市民評価委員会結果	廃止する					
総括	この事業は廃止するが、新居浜市長期総合計画に規定する商業振興の行政目的はまだ達成されていないので、主管課として、これからの商業振興に相応しい施策化について検討してほしい。					
他意見	全国的に商店街の経営が非常に厳しい中、これまでの取組で少しずつ良い影響が出ているのではないかと感じる。					
質疑	○来場者の推移は。 ○商店街の活性化にどのような効果があったのか。					

事業名		部局名	課所名	番号	実施日時	
農業用施設修繕事業補助金		経済部	農地整備課	6032-2	第3回	10/9(火)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	— (補助金)					
総括	問題意識を持って取組んでいただいていることがわかったので、厳しい財政状況下とはいえ、可能な限り食料自給率の向上のためにも、今後とも継続していただきたい。					
他意見	地域に応じた生産基盤整備を進めていく必要があり、国の予算も少なくなる中、緊急性を要するものから整備していただきたい。					
質疑	○水路・農道の維持管理をどこが主体的に行うか、法的に決まっているのか。 ○農業用水路として供しなくなった水路で、改良区が維持管理しなくなった事例は。					
ふるさと雇用新居浜市地産地消推進事業		経済部	農林水産課	6205-1	第3回	10/9(火)
◇ 自己評価結果	廃止する					
◆ 市民評価委員会結果	廃止する					
総括	予算上の取り扱いは廃止とするが、地産地消や生産体制の確立、需要を満たす供給力を確保するためにも、農林水産課として今後検討し、来年度もこの問題について議論するというを条件とした。					
他意見	この問題は一朝一夕に行く問題ではなく、農林水産課としては避けて通れる問題でもない。今後どのような切り口や考え方で取り組んでいこうとするのか、課内で議論してもらいたい。					
質疑	○利用率が30%で限界なのか。その要因は。 ○供給体制の強化に向けてどのような対策を講じることを考えているのか。					
有害鳥獣駆除事業		経済部	農林水産課	6076-1	第3回	10/9(火)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する					
総括	イノシシの生態調査や情報収集を進め、住民が被害にあわないよう、駆除の仕方について、従来のやり方だけでなく、新たな取組・対応を考えながら、継続して取り組んでいただきたい。					
他意見	柵を設置するだけでは個体数が減らないので、最終的には駆除に力を入れていく必要があるのではないかと思う。					
質疑	○報償費を設定しているが、1日歩きまわって1頭も捕れないこともあるのでは。 ○イノシシの実際の生態は分かるのか。					
中間育成放流事業		経済部	農林水産課	6054-2	第3回	10/9(火)
◇ 自己評価結果	手段を改善する					
◆ 市民評価委員会結果	重点化する					
総括	新居浜では漁獲量も減っている現状もあることから、つくり育てる漁業を推進していくためにも、予算規模を拡大して取り組んでいただきたい。来年度予算にどのように反映されたのか宿題とするので、経営戦略会議に報告していただきたい。					
他意見	藻場の育成や漁礁の設置などの環境整備に取り組むとともに、少なくとも他の自治体と同規模の予算化・放流が必要。					
質疑	○放流事業を実施するにあたり、何を目標に尾数を設定しているのか。 ○他市では多くの予算を投じて、つくり育てる漁業を推進している中で、新居浜市が30万円程度しか投入できない理由は。					

事業名		部局名	課所名	番号	実施日時	
漁港整備事業		経済部	農林水産課	6064-1	第3回	10/9(火)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する					
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する					
総括	漁港機能の維持のために今後も継続して適切に修繕維持に取り組んでいただきたい。					
他意見	特になし。					
質疑	○今年度の具体的な取り組みは。 ○年度によって予算規模が変わっている理由は。					